



ねりいた

# 練板ベー通信

2008年12月24日 vol. 79

練馬板橋ベーゴマの会

作：夕陽のヤスジ



## 四天王復活、第二章

はなた

# 湊垂ねギャオス、悲願の初優勝

忘れかけていたこの瞬間

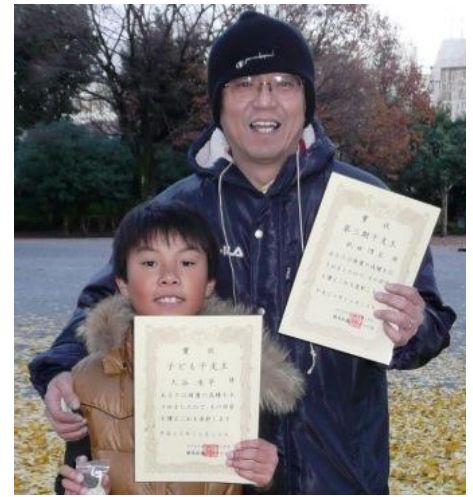
優勝という二文字を忘れたわけではない。ただ、B級の仲間がいることに安心し、いつの間にかそれでもまあいいかと、あきらめにも近い心境に陥っていた男が、ついに初タイトルを手にした。朝から雨が降り止まぬ板橋平和公園で、12月14日（日）もちつき&第三期干支王戦を開催した。

もちつきも今年で7回目だ。しかし、これほどの雨にお目にかかったことはなかった。それだけに思い出深い餅つきになった。第1回は2002年12月、光が丘公園でお汁粉や焼き芋も作って食べたっけ。松ちゃんが初参加してくれたのもこのときだ。当時の会員で残っているのは四天王とまみいだけ。思えばいろいろな人が遊びに来てくれたもんだ。

リニューアルされた干支王戦、今回の干支は「丑」、モーモーちゃんは力の抜けたいやし系、どこか愛らしいその顔は、血生臭い戦いにひとひらのやすらぎを与えてくれる。雨の中集まってくれた予選参加者は38名、つきたてのお餅といも煮を腹いっぱい詰めて、ようやく第三期干支王戦の始まりだ。すでに大人たちの時代は過ぎ去った。毎回のことだが、元気な小学生がぐんぐん勝ち上がる。予選通過者を順に並べると、コートロー、アッキー、タイキ、ユウキ、ユージ、コウスケ、怪鳥ギャオス、ルパン師岡、床さん、ハジィ、チョット今村、リョウヘイ、これに同点決勝で残った六角デビル、ハルク、ケイタ、トシ田口の16名。先月優勝の北馬中郎は同点決勝であえなく撃沈、「いつもはこんなもんなんです。」と寂しいひとこと。でも、グラチャンが待ってるぞー！ 気落ちするなよー！

見所満載の決勝トーナメントでは、コートローがトシ田口を破る大金星をあげると、床さんがルパンとコートローをナックルベーで突き飛ばす。その床さんを、ユージとデビルをダブルパンチで蹴落としたリョウヘイがすっ飛ばす。強い強い。片やタイキを破ったハルクと、チョットを蹴倒したコウスケの師弟対決が実現する。ハルクには弟子だろうが負けてあげようなんて気持ちには微塵もない。危うく負けるところだったが、同点に追いつきこれを撃破、師匠の面目躍如といったところだ。そのハルクも弟子との戦いに力尽きたか、ハジィとケイタを破ったギャオスに難なく倒され、本年最後の戦いに幕を閉じた。

そして迎えた決勝3本勝負、この大舞台に登場したのは伸び盛りのリョウヘイと、苦節七年、NIBを立ち上げ、陽の当たる場所を敢えて避け、常に



リョウヘイ、ギャオス おめでとう！



黒子に徹し、会の運営に尽力してきた怪鳥ギャオスだ。初の晴れ舞台だが、この男が6年前行われた「練板サミット」で優勝したことがあるのを知っているだろうか。残念ながらこの大会がタイトル戦ではないという理不尽な会員の見解で、無冠のレッテルを貼られ続けてきたのだ。しかし、「その時」がついに目の前にやってきた。このチャンスを逃したら、もう永遠にないかもしれない。ギャオスには力がみなぎっていた。

グイとひもを引くと勢いよく床の上をベーゴマが走りまわり、リキ勝ち一本。優位に立つ。しかし、狙いすぎたか二本目は痛恨の床はずし、さらに弾き飛ばされ1対2、逆に崖っぷちに立つ。こうなったら後はない、何も考えず目一杯入れるだけだ。ここで緊張したのかリョウヘイに力がなく、ギャオス二本目のリキ勝ちで同点に追いつく。何を隠そう、ここまでギャオスはすべてリキ勝ちなのだ。日頃「はじき出してなんぼの世界。だから、ドキドキ、ワクワクする。」なんて言っているくせに、いざ自分の場合はリキ勝ちばかり、これには観衆もブーイングだ。何とか飛ばしで勝ちたいギャオス、ここで新たな作戦に出る。何も勝負は床の上だけではない。ささやき作戦も有効な手段だ。「わかってるな。オレの目を見てみる。」ジッと見つめるギャオスに、顔を上げられないリョウヘイ、勝負はこのときすでについていたかも知れない。チッチのチッ、イッサの掛け声に両者のベーが床を這い回る。追いついたギャオスベーが相手を突いたその瞬間、パキーン！ 見事、きれいな一本勝ちだ。これで不名誉な無冠を返上、念願のタイトル保持者の仲間入りだ。握手を求める会員たちの笑顔には、伝説になりかかった無冠男に対する祝福と、勝てないと思っていた男が勝ったという可笑しさが混ぜこぜになった気持ちが表れていた。予選で涙を垂らしていたギャオス、ミセスにもらったティッシュで涙をかんでスッキリしたか、これで晴れてA級組に仲間入りを果たした。B級カルテットのみなさん、いつでもこちらへおいでください。首を長ーくして待ってまーす。



## 子ども王はリョウヘイが獲得、富士見学童では四人目

予選12位で通過したリョウヘイが、ユージ、六角デビル、床さんの三人を破り決勝戦に進出、総合優勝こそ逃したが、みごと第三期干支王戦子ども王に輝いた。決勝トーナメントでは8勝のうち7勝が飛ばし勝ちというリョウヘイ、干支王にふさわしいのはギャオスよりむしろリョウヘイの方かもしれない。これで今年は富士見学童のハジィ、ユウ兄、リューキ、リョウヘイの揃い踏みになった。おめでとう！

